

令和7年度ヨーロッパザラボヤ等付着情報（第3報）

令和7年10月3日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿岸広域振興局水産部・宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

- ・ヨーロッパザラボヤの付着数は前回調査（8月）より減少しました。
- ・フジツボ類の幼生の採集数は前回調査（8月）から大幅に減少しました。

<調査方法>

- 1 調査日：令和7年9月25日（前回調査：8月18日）
付着器投入期間：8月16日～9月25日（前回調査：7月16日～8月18日）
プランクトンネット曳網日：9月25日（前回調査：8月18日）
- 2 調査場所
・山田湾 大島南端 西微南480m付近
- 3 調査方法
・ザラボヤ等付着状況調査
ホタテガイ貝殻を使用した付着器を水深5m、10m、15mに3枚ずつ取り付けたロープを垂下し、1ヶ月ごとのヨーロッパザラボヤ（1mm以上）、ユウレイボヤ（1mm以上）、フジツボ類の付着数を計数。
付着器9枚（3水深×3枚）に付着した数を平均したものを平均付着数とした。
・フジツボ類幼生発生状況調査
北原式プランクトンネットを鉛直に20m曳網し、採集物の中からフジツボ類の幼生を計数。

<調査結果>

- ・ザラボヤ等付着状況調査
9月25日の水深5、10、15m層の水温は、表1のとおりでした。透明度は、9m（8月18日 13m）でした。付着器のヨーロッパザラボヤの平均付着数は表2のとおりで、前回調査（8月18日）の約34%まで減少しました。
- ・フジツボ類幼生発生状況調査
フジツボ類幼生は4個体にとどまりました（8月18日 104個体、7月16日 0個体、6月13日 1個体）。
- ・その他
フジツボ類の付着器への平均付着数は35.1個体/枚でした（8月18日 112.0個体/枚、7月16日 0.3個体/枚）。
ユウレイボヤの付着器への平均付着数は27.1個体/枚でした（8月18日 0.89個体/枚、7月16日 1.2個体/枚）。

表1 5、10、15mの水温

	9月25日	8月18日	7月16日
5m	22.2℃	24.7℃	20.0℃
10m	21.7℃	23.5℃	13.4℃
15m	21.6℃	22.5℃	12.2℃

表2 ヨーロッパザラボヤの平均付着数

	9月25日	8月18日	7月16日
5m	2.0 個体/枚	0.3 個体/枚	11.3 個体/枚
10m	1.0 個体/枚	0.0 個体/枚	4.7 個体/枚
15m	0.0 個体/枚	8.3 個体/枚	38.3 個体/枚
平均	1.0 個体/枚	2.9 個体/枚	18.1 個体/枚

お問い合わせ先
担当 増養殖部
電話 0193-26-7917